



2020年（令和2年）12月22日

報道各位

大広、日本インフォメーション、RooMooN が
コロナ禍における成人式に関する共同調査を実施。

～With コロナ時代の先行きに不安と戸惑いも～

株式会社大広（代表取締役社長：落合 寛司）（以下、大広）、日本インフォメーション株式会社（代表取締役社長：齋藤 啓太）（以下、日本インフォメーション）、RooMooN 株式会社（代表取締役：浜内 久乃）（以下、RooMooN）の3社は、共同で「コロナ禍における成人式に関する調査」を実施しました。

<各社の取り組みと概要>

大広は、2018年6月16日付けで「次世代ロールモデル研究プロジェクト」を立ち上げ、18才前後の若者達に注目し、次世代を担う彼らがこれからの日本をどのように生きていけば良いかを考える情報発信サイト「18カラ～ノ、」を公開、運用してきました。2019年11月に日本インフォメーションと共同調査リリースを行い、2020年6月には日本インフォメーションと共催でオンラインセミナーを実施しました。

※「18カラ～ノ、」：<https://www.18kara-no.jp/>

日本インフォメーションは、2020年12月1日に設立51周年を迎えた調査会社です。昭和・平成・令和と50年にわたって時代の変化を生活者の視点から見つめてきました。2020年6月に大広と共催したオンラインセミナー「次世代ロールモデル研究セミナー」では、18才以下の若者（中高生）を対象としたクラスター分析手法「U-18クラスター」の運用についてプレゼンテーションを行いました。

※コーポレートサイト：<https://www.n-info.co.jp/>

RooMooN は、2018年10月に発足した女子大生・女子高生マーケティング集団「Trend Catch Project」の運営を中心に、企業へのマーケティング支援やトレンド発信を目的に活動するPR エージェンシーです。現在、関東・関西を中心とした高校生・大学生・短大生・専門学生、約90名が「Trend Catch Project」に所属しており、今後さらに規模を全国に拡大し、女性のライフステージに合わせたリアルな意見を社会に向けて発信していきます。

※Trend Catch Project の学生が運営するメディア

「Trend Mirror」Instagram：https://www.instagram.com/trendmirror_jp/

この度、各社はお互いの若者を対象とした取り組みを発展させるために共同で調査を実施し、コロナ禍における成人式事情についてレポートします。

※本レポートの著作権は、株式会社大広・日本インフォメーション株式会社・RooMooN 株式会社が保有します。内容を転載・引用する場合には、「大広・日本インフォメーション・RooMooN 調べ」と明記してご利用ください。

<上記に関するお問い合わせ>

<概要>

今回は、RooMooN が運営する女子大生・女子高生マーケティング集団「Trend Catch Project」による定量アンケート結果と「Trend Catch Project」メンバーへのオンラインインタビューからレポートいたします。

■Trend Catch Project | 定量アンケート調査

- ・調査方法：インターネット調査
- ・エリア：全国
- ・調査対象：21年1月に成人式を迎える予定の女子大生 78人
20年1月以前に成人式を迎えた女子大生 42名
- ・回答件数：合計 120名
- ・調査期間：2020年12月5日(土)～12月13日(日)

■Trend Catch Project | メンバーを対象としたオンラインインタビュー

- ・調査方法：オンラインによる個別インタビュー調査
- ・エリア：首都圏/関西圏
- ・調査対象：21年1月に成人式を迎える予定の女子大生 2名
20年1月以前に成人式を迎えた女子大生 2名
- ・回答件数：合計 4名
- ・調査期間：2020年12月3日(木)、4日(金)

<結果のポイント① | 定量アンケート>

本調査から得られた主なファインディングスは以下の通りです。

- ✓ 「成人の日」の式典は、今回 96%の人が「当日会場に集まって開催」と回答。
- ✓ 新成人のうち、「参加したい」「まあ参加したい」を合わせると 83%の人が式典に参加意向あり。
- ✓ 当日は、「式典に参加予定」が 86%に対して、「同窓会に参加予定」は 36%で、減少の傾向。
- ✓ 新成人のうち、「前撮り」を実施した人は 89%で、コロナ禍においても大多数を占める。
- ✓ 新成人で「日本の将来は明るい」と答えた人は 23%で、将来の見通しは楽観的ではない
- ✓ 成人式の抱負では、「就職」に向けた思いを強くする声が多くあげられました。

<結果のポイント② | オンラインインタビュー>

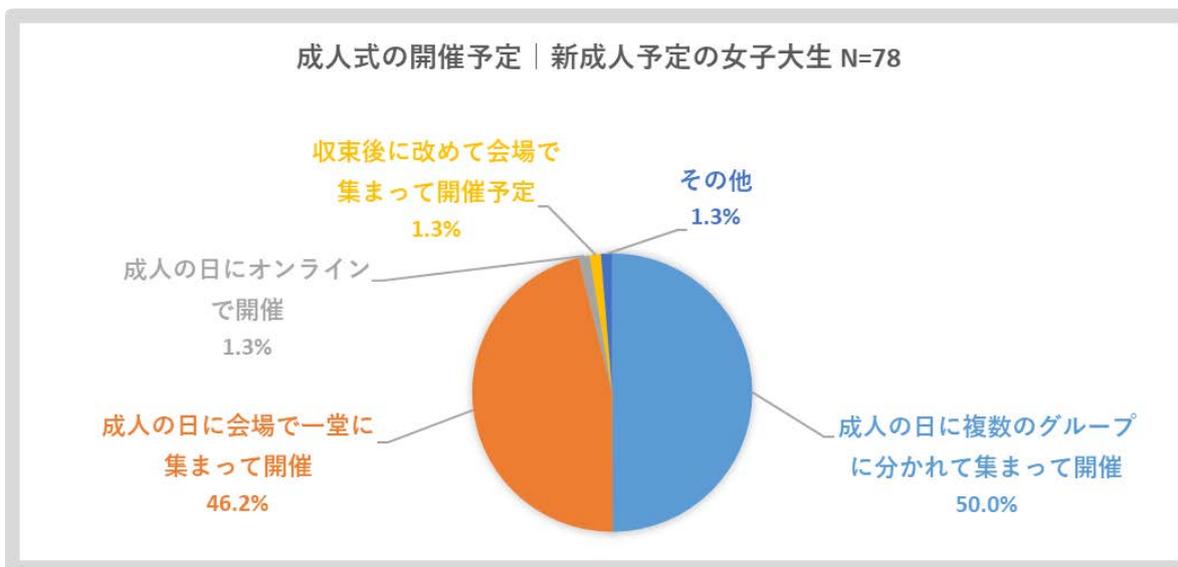
本インタビューから得られた主なファインディングスは以下の通りです。

- ✓ ①先輩の声 | 成人式を迎えて感じたこと |
成人式は、人生における大きな節目であることを自覚させてくれる大切な機会である。
- ✓ ②先輩の声 | 成人式を終えた後の心残り |
振袖をせっかく着たのであれば記念に写真を撮っておけばよかったと少しだけ後悔をした。
- ✓ ③新成人の声 | 1月成人式に向けた不安 |
前撮りをすでに済ませたが、コロナ禍によって成人式の開催が変更されるのではないかと不安。
- ✓ ④新成人の声 | 1月成人式に向けた準備 |
3月には着物の購入や様々な予約を終え、準備万端。その先の就活に向けた準備も早々に開始。

トピック① | 成人式の開催予定

2021年1月「成人の日」の式典は、今回96%の人が「当日会場に集まって開催」と回答

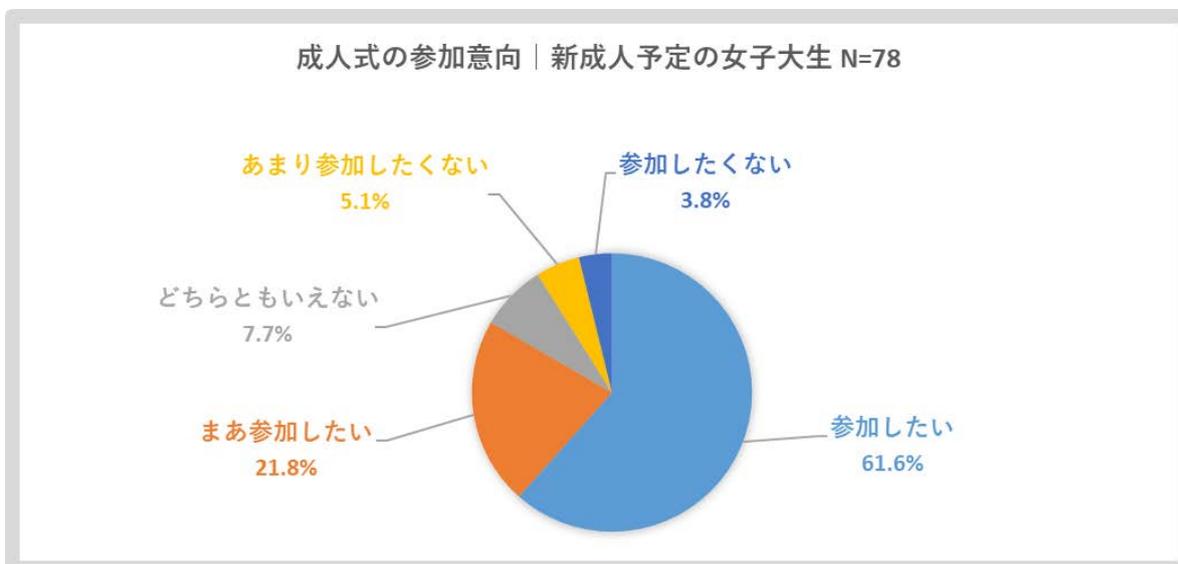
■内訳は、「複数のグループに分かれて集まって開催」が50%、「一堂に集まって開催」が46%。コロナ禍において、すでに成人式の中止やオンライン開催などの報道がある中で、2020年12月時点ではリアルに会場で集まって開催を予定している自治体が多数のようです。中でも、複数グループに分割して開催する自治体が多いようで、半数の人がそのように回答しました。



トピック② | 成人式の参加意向

2021年1月の新成人のうち、83%の人が式典に参加意向を持っていました。

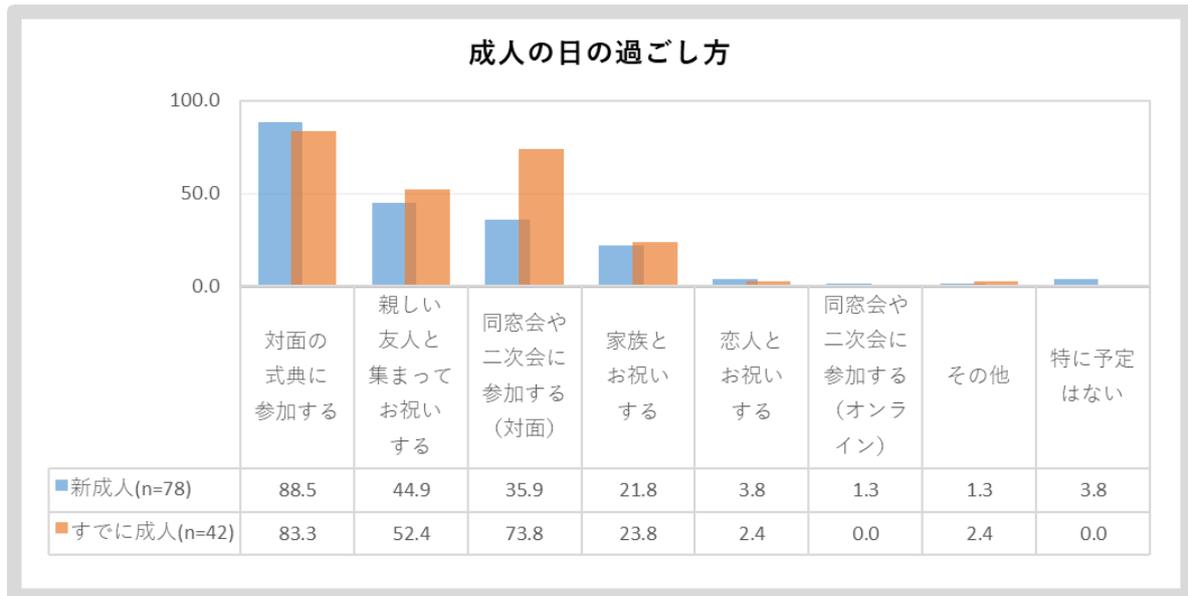
■内訳は、「参加したい」が62%、「まあ参加したい」が22%でした。コロナ禍で、成人式とはいえ大勢の人が一堂に集まることに不安があると思われそうですが、それぞれ当事者の意向としてはほとんどの人が「参加したい」と回答しました。



トピック③ | 成人の日の過ごし方

成人の日の過ごし方は、2021年1月の新成人では、「対面の式典に参加する予定」86%

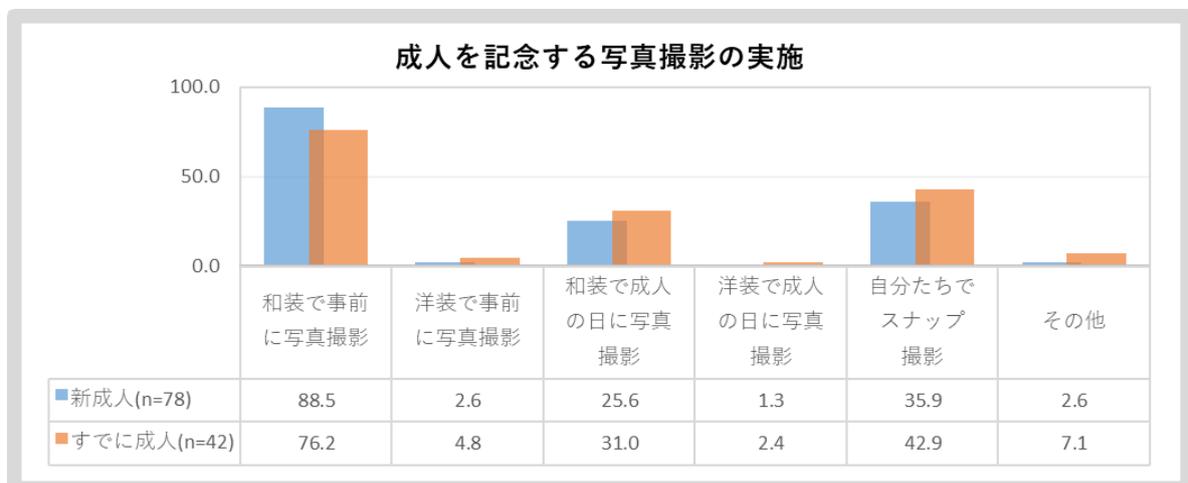
■そのほかでは、「親しい友人と集まってお祝いする予定」45%、「対面の同窓会や二次会に参加する予定」36%、「家族とお祝いする予定」22%の順でした。すでに成人した人たちでは「対面の同窓会や二次会に参加した」という人が74%と多かったのに対して、新成人では半減しており、同窓会への参加を控えている人が多いようです。一方、新成人でも「親しい友人と集まってお祝いする予定」の人は半数近くおり、コロナ禍で配慮しながらできる範囲でお祝いをしようという意識が見られます。



トピック④ | 成人を記念する写真撮影の実施

「前撮り」を実施したのは、2021年1月の新成人では89%でした。

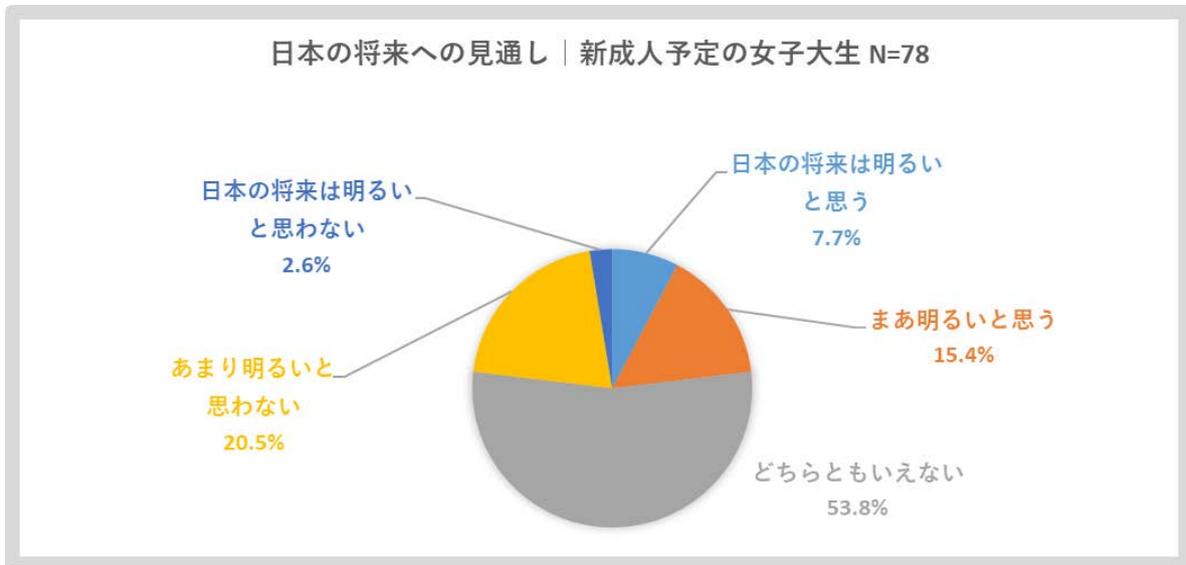
■また、「振袖を着て当日に記念撮影」する予定の人は26%で、「自分たちでスナップ撮影する」予定の人は36%でした。成人式を迎える女性にとって振袖を着て記念撮影することは大切なイベントの1つであり、コロナ禍においても「前撮り」を行う人が大多数を占めています。



トピック⑤ | 日本の将来への見通し

2021年1月の新成人で「日本の将来は明るいと思う」と答えた人は23%でした。

■日本の将来について聞いたところ、2021年1月の新成人で「日本の将来は明るいと思う」と答えた人は「明るい」「まあ明るい」を合わせて23%でした。成人式を楽しみにする気持ちに変化はなくとも、コロナ禍において様々な制約が生じる中で、将来への見通しは決して楽観的ではないことが分かりました。



トピック⑥ | 成人式を迎えるにあたっての今後の抱負

就職に向けた思いを強くする声が多くあげられました。

■2021年1月の新成人に対して成人式を迎えることについて抱負を聞いたところ、「就活に向けて何か始めたい」「将来の夢に向けて頑張りたい」「大学卒業後を考える」「社会人に向かって」など、就職に向けた思いを強くする声が多くあげられました。また、「両親に感謝し、1人前になった自覚を持つ」「行動や言動に責任が大きくなった」など、自立や責任についての言及もあげられました。さらに、「素敵な大人になりたい」という声に象徴されるように、“大人”という存在を改めて意識する節目となっていることもうかがえます。

成人式を迎えるにあたっての今後の抱負（主な意見） | 新成人予定の女子大生 N=78

- 「就活に向けて何か始めたい。」
- 「将来の夢に向けて検定試験や留学など頑張りたいと思います。」
- 「もっと将来のことを考える。大学卒業後、どうしたいか決める。」
- 「学生気分で"とにかく遊ぶ!"という気持ちから
いよいよ大人になって社会人に向かっていんだという気持ちに変化した。」
- 「両親に感謝し、1人前になったという自覚をもつ。」
- 「まずは大人になったことで自分自身の行動や言動に係る責任が大きくなったことを認識してから
大人になったからこそ許されるお酒などを友人と飲みに行ったりしてたのしみたい。」
- 「素敵な大人になりたい」

①先輩インタビュー | 2020年1月に成人式 KMさん 21才

成人式を迎えた時に感じたことは、周囲への感謝

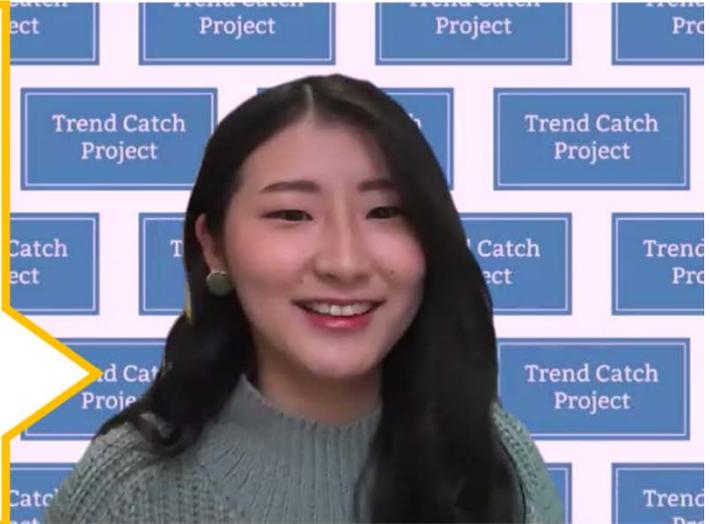
■神奈川県出身で都内の大学へ通う KMさん (21才)。成人式を迎えて感じたことについて聞いたところ、当時、新成人代表の1人としてテレビのインタビューに答えたときのことを紹介してくれました。取材という特別な機会だったとはいえ、新成人として心境の変化を自覚的に感じていたことが分かりました。成人式は、式典・同窓会などの運営・参加を通して、人生における大きな節目であることを自覚させてくれる大切な機会であると言えます。

成人式でテレビの取材を受けた。
自分を捉えるのに良い機会だったと思う。

話したのは、
自分の中で目標設定をすることと、
周囲の人に感謝を感じたことの2点。

両親にはやりたいことを
やらせてもらっていたので
そのことへ感謝しているということ。

あと兄弟とは仲良く、いろいろと
無茶を言って付き合わせたりしたので
ありがとうということを話した。



②先輩インタビュー | 2020年1月に成人式 SSさん 21才

成人式で心残りは振袖を借りたのに記念撮影しなかったこと

■静岡県出身で都内の大学へ通う SSさん (21才)。成人式には振袖をレンタルして参加したが、写真は自分たちのスナップ撮影だけで十分と思い、スタジオなどでの記念撮影は行わなかったそうです。式典への参加を終えてから、振袖をせっかく着たのであれば記念に写真を撮っておけばよかったと少しだけ後悔をしたそう。数時間のためだけに振袖を着たのがなんだかもったいなかった気がしたとのことでした。振袖を着るのは短い限られた時間ですが、時間をおいてみると大切に貴重な機会だったと気づくこともあるようです。

「前撮り」は撮れたら将来の思い出に
良かったと思うが、自分で撮るのが
あればいいやと割り切った。

自分で全部決めて
特に親には相談などしなかった。

当日、あの数時間のためだけに
と思ったら、キレイな写真を残して
おいても良かったかなと後から思った。



③新成人インタビュー | 2021年1月に成人式TBさん19才

成人式が開催されるかわからない不安な気持ち

■兵庫県出身で京都の大学へ通うTBさん（19才）。成人式に向けては、こだわりの前撮りをすでに済ませており、当日に向けても友人とこまめに連絡を取り合っているそう。前撮りは京都で着物を借りて、街歩きをしながら写真撮影を行うというスタイル。そんな楽しみ・準備も着々と進めていながら、コロナ禍によって成人式の開催が変更されるのではないかと不安があり、戸惑いを隠せない様子でした。成人式という晴れやかな日に、地元の友人たちと集うという大切なイベントがなくなってしまうとしたらとても残念だという気持ちが伝わりました。

通常だったら分けずにやるのを
今回は二部に分けてやる予定だが、
今後さらにどうなるのか気がかり。

ニュースで見るとほかの地域でも
気になる。HPをチェックしている。

同窓会の予定がまったくわからず、
やるのかどうなのかも連絡がない。

今年は特に何もなく過ごしてきて、
1年を失って、
急に二十歳になるみたいな気分。



④新成人インタビュー | 2021年1月に成人式AIさん20才

成人式は楽しみだが将来には漠然とした不安

■山口県出身で東京の大学へ通うAIさん（20才）。2021年1月の地元での成人式に向けて、2020年3月には着物の購入や様々な予約を終え、準備は万端のようです。すでに二十歳にはなっている、当日友人たちと集まるまでは実感が持てなさそうということでした。成人式は楽しみしかないと答えつつ、一方で先々の就職については不安を感じているようで、インターンなどへの参加をいち早く始めようと活動をスタートしているそうです。

7月に二十歳にはなっていて、
いろいろ責任は増えているが
あまり自覚はない。

成人式にみんなで集まって
お酒を飲むと心境が変わるかも。

将来については、基本的には、
なんとかかなるでしょう精神で生きている
が、今の状況だとなんとかかならなそう。
就職までには元に戻ってほしい。

就職できるかな？とか漠然とした
不安はある。



<今後の取り組み>

引き続き、3社共同での調査リリースなどを発信していく予定です。

※2021年1月、3月、4月にそれぞれリリースを発信の予定

※それ以降も順次発信